

2015<sup>9</sup>月



# 原水協通信

日本原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

ナガサキデー集会

## 大阪代表団コール会場いっばいに響く!

憲法違反の「戦争法案」を全力で廃案にしよう



☆8月9日、ナガサキデー集会でコールする中岡隆之さん(大教組)と大阪代表団

被爆七〇年、広島・長崎大会成功裏に終わる

2015年原水爆禁止世界大会参加の大阪代表団は、四百八十四名に達しました。広島大会には、二百七名、長崎大会には二百七十七名が参加。被爆七十年の歴史的大会にふさわしく、海外二十一カ国百四十七人含むヒロシマデー集会には五千五百人、ナガサキデー集会には六千人が参加し、核兵器廃絶の誓いを新たにしました。広島大会開会集会では、阪口伸六・高石市長が挨拶。ナガサキデー集会では、大阪代表団百五十名のコールがあり、その迫力に会場から大きな拍手が寄せられました。

「安倍首相

もう白旗あげなさい」

今年の世界大会は、「被爆七十年、二つの大会とも重視し、二つの大会を成功させよう」のスローガンで準備されました。広島大会は新婦人百二十五名中心に、大阪民医連のバスを使つての一日参加など、八月六日への一日参加が申し込まれました。初めて、参加されて舞台に立った俳優の宝田明さんは、「私は、あえてここで安倍首相に申しあげますが、もう白旗をあげなさい」と、現在国会で審議されている「戦争法案」に対する懸念を表明しました。

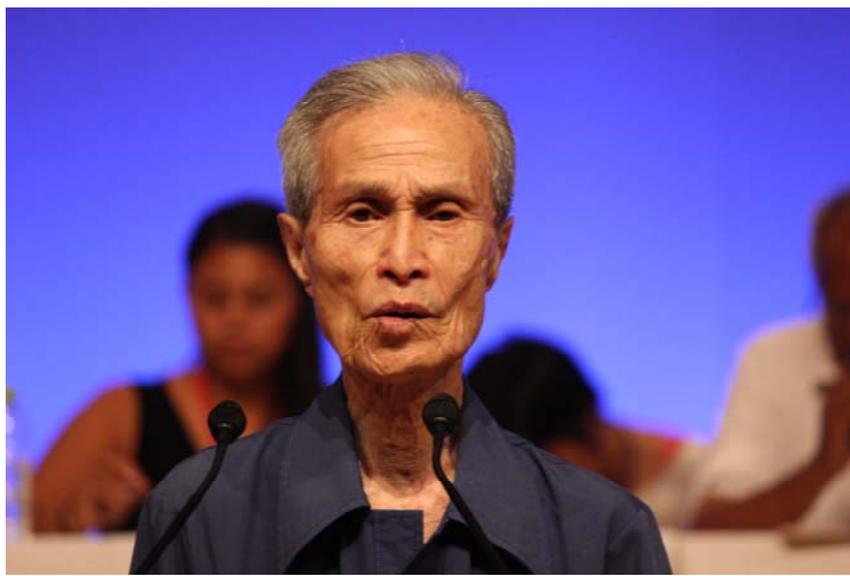
ナガサキデー

大阪代表団に大きな拍手

八月九日、ナガサキデー集会のファイナル近くで「各地からの決意」コーナーで大阪代表団百五十名が壇上に。大阪での国民平和大行進でコールされた「ええじゃないかコール」が披露されました。中心でシャウトしたのは、中岡隆之さん(大教組・堺市教職員組合)。前日の「教職員をつどい」終了時に大教組の仲間が集まってもらったの練習が行われました。フィリピンからの海外代表も参加しての盛り上がりでした。泉佐野市から始まったこのコールに、世界大会参加者から大喝采でした。

2015年原水爆禁止世界大会・長崎大会

# 被爆者の叫びを胸に、新たな出発を



ノーベル平和賞にも推薦されている谷口稜暉(いつてる)さんは、長崎大会で壇上に立ち被爆証言を行いました。自分の持っているすべての力をふりしぼっての証言に、会場は水を打ったように固唾を飲んで証言に集中しました。今、あの被爆当時焼けただれた背中では、皮膚ガンとなり、カメの甲羅のように固くなっています。「核兵器がなくなるのが先か、自分の命がなくなるのが先か」と、全力で証言を続ける谷口さん。この4月、ニューヨーク行動でも先頭に立ちました。私たちが奮い立たせる被爆証言でした。



海外代表は21カ国147名と、まさに「原水爆禁止世界大会」でした。大阪代表団と懐かしく再会を喜び合う光景が、あちこちで展開されました。フィリピン非核連合のフアブロスさん親子、古くからの友人アメリカフレンズ奉仕委員会のジョセフ・ガーソンさん、メアリー・パペオさん、IPB(国際平和ビューロー)事務局長のコリン・アーチャーさん、今年の夏に大阪に来てくれたマーシャル諸島のアバッカ・アンジャンさん、アメリカ・ピースアクションのメデリン・ホフマンさん。世界中で、平和の仲間が広がっています。



世界大会参加者から感想文が届き、感想文集が手作りできあがりしました。その中に、次のような無記名の感想文がありました。「8月9日の早朝、爆心地から500メートルの浦上天主堂まで歩いてみました。浦上天主堂では、朝7時から原爆犠牲者と平和を祈るミサが行われていました。帽子をとって、正面のドアから教会内に静かに入り、讃美歌と牧師様の説教が交互に混じり、荘厳な雰囲気に。浦上地区の教会信者8500人が犠牲になったそうです。ステンドグラスを見ながら、静かに原爆犠牲者を悼みました」。大阪原水協の役員でも浦上天主堂のミサには、出たことがなく、貴重な感想文でした。